

事業名 CD	0107010203	中小企業振興資金融資事業
細分化した事業名	利子補給金及び保証料助成金	
事業担当課室 CD	300400	商工観光課
		整理コード

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	魅力あふれるまちづくり	
	中項目	まちの賑わいをつくりだす商工業の振興	
	小項目	経営改善の支援	
関連する個別計画等		根拠条例等	葦崎市小規模商工業者事業資金利子補給及び保証料助成要綱
関連する事業			

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	市内小規模商工業者の経営安定化のため(資金借入時保証料コスト及び借入金償還時利子コストの低減)
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	補助対象資金借入者で市内に継続して1年以上事業所を有している市内小規模商工業者(商工会員で常時雇用従業者数100人以下)
これまでの改善経過	金融危機や雇用情勢の悪化を受け、平成20年11月から緊急経済対策事業として要綱を適用。従業者数を50人から100人に拡大するほか、平成21年度には補助対象資金を8から12に広げるなど多くの対象者が補助金を受給できるよう改善してきた(葦崎市商工会・山梨中央銀行葦崎支店からの要望に応じた)。
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	<p>〈実施・運営方法〉 □市 □委託 ■補助金 □その他()</p> <p>商工会による申請の受け付け後、市により交付決定。商工業者からの請求は3月に1度とし、経営の資金繰りを支援している。</p> <p>利子補給金・・・補給率30% 借入後1年間 限度額10万円 保証料助成金・・・助成率50% 限度額50万円</p>
事業の成果 (どのような状態にしたのか、どのような効果を得るのか)	市内小規模商工業者が山梨県信用保証協会保証料や支払利子といった事業コストを抑えながら資金の借入れが可能となる。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		20年度	21年度	22年度
A	事業費 (千円)	11,432	10,826	4,276
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他			
	一般財源	11,432	10,826	4,276
B	担当職員数(非常勤 職員E) (人)	0.20	0.56	0.30
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	1,382	3,821	2,016
D	総事業費(A+C) (千円)	12,814	14,647	6,292
*参考	H22)市民1人当りの事業コスト	197 円	H22)市民1人当りの行政サービス費用	599,027 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。

注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)、22年度(6,719千円)を使用しています。

注3)一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			20年度	21年度	22年度
活動指標	補助金受給者数		延56者	延60者	延41者
成果指標	融資利用額 受給率	千円 % (受給者数/申請者数)	789,134 100	656,100 100	297,700 100
効率指標	商工会による受付から市による交付決定(支払)までの日数	開庁日	10(30)	10(30)	10(30)

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 新規に制定された要綱による補助制度であり、妥当である。
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 需給者数は減少したものの、本制度の適用によりこれまでは対象とならなかった商工業者の補助金の受給が可能となった。
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 商工会による申請受付及び市による交付決定と支払、受給者による3月に1度の請求
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input checked="" type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input type="checkbox"/> 現行どおり
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)
	(1) 中長期的 利子補給率(30%)や保証料助成率(50%)の変更(低減化)による事業規模の検討
	(2) 24年度 利子補給率(30%)や保証料助成率(50%)の変更(低減化)による事業規模の検討
	(3) 23年度 事業規模や内容の検討
	22年度の改善計画
	22年度の改善結果
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること)	商工会による申請書類の確認
課長所見	小規模商工業者事業資金利子補給及び保証料助成要綱により中小企業の経営安定に寄与しており、22年度は経済状況改善により利用件数は減少したが商工会からも期待されている制度でもあり今後も継続したい。